

中小企業こそテレワーク!

中小企業は働き方改革をチャンスに!

《会社概要》

会社名 株式会社 WORK SMILE LABO

旧/株式会社 石井事務機センター

所在地 岡山市南区福浜町15-10

設立 明治44年(1911年)創業

従業員 34名(男性14名、女性20名)

経営理念 「働く」に笑顔を!

業種 笑顔溢れるワークスタイル創造提案業



会社概要

私たちは、もともと筆や墨の販売で創業し、時代の流れと共にオフィス家具・OA機器の販売を中心とした地域の事務機屋でした。

数年前に他社との差別化をするにあたり、お客様に「より良いワークスタイルを提案する」会社になるために我々の業種を

『笑顔溢れるワークスタイル創造提案業』
と変えました。

中小企業へより良い働き方を提供するにあたり、まずは**自社の働き方における様々な課題を解決することで、お客様へノウハウを含めたご提案を行っております。**

テレワークを導入し、働き方を変えたことで、

採用力が大幅に向上

離職率の低下

→会社が大きく変わった

多様な働き方の促進

テレワーク

中小企業がテレワークを導入したこと

採用力向上、生産性向上、離職防止

などの経営課題の解決につながった

2018.11.29

総務省「テレワーク先駆者百選」
総務大臣賞受賞



受賞をきっかけに中小企業のテレワーク実践企業として全国的にも認知度が広まりつつある。

地方の中小企業がなぜ、テレワークを始めたのか？

2016年4月、一番はじめのキッカケは

- 小さな子供のいるパート社員が、以前は子供の急な病気で休むことが多かった。
- 休む方も・休まれる方も双方に負担があった。

少ない人数で運営している中小企業では、
**代わりの人材がおらず、業務へ与える影響は
大きいことが実状。**

口には出しませんが、 お互いこんな風に感じていました



休む側

- 急な欠勤で会社や仲間に迷惑をかけるのが心苦しい
- 休んだ分、収入が減る

休まれる側

- 一人当たりの仕事量や負担が増え、残業が発生する



また出産などの際も今まででは退職するか、復帰をしても時間の都合でパート社員としての雇用しかできなかつた。

導入効果（仕事とプライベートの両立）

子供による急な休みに対応できるようになった



弊社女性社員
在宅ワークの1日



+の効果

出退勤時間が無くなり、尚且つ仕事の合間の休憩時間に家事を行うことができ、生活にゆとりが生まれた

社内と同じ環境で仕事が出来ながら、電話対応・来客対応が無い分、専門業務の生産性が向上

導入効果

全社員テレワーク活用による生産性の向上 (残業時間の削減)

残業時間 (一人平均)

【2016年6月】内勤メンバーへのテレワーク導入

2016年2月 41.7時間/人	→	2017年2月 18.9時間/人	=	54.7%減
2016年3月 48.4時間/人	→	2017年3月 23.5時間/人	=	51.5%減
2016年4月 56.6時間/人	→	2017年4月 26.2時間/人	=	53.8%減
2016年5月 33.8時間/人	→	2017年5月 22.3時間/人	=	34.1%減

【2017年6月】外勤メンバー含む、全社員へのテレワーク導入

2016年6月 40.3時間/人	→	2017年6月 17.6時間/人	=	56.4%減
2016年7月 39.7時間/人	→	2017年7月 15.7時間/人	=	60.5%減
2016年8月 39.0時間/人	→	2017年8月 30.5時間/人	=	21.8%減
2016年9月 36.2時間/人	→	2017年9月 29.4時間/人	=	18.8%減
2016年10月 35.9時間/人	→	2017年10月 28.7時間/人	=	20.0%減
2016年11月 50.6時間/人	→	2017年11月 30.4時間/人	=	39.9%減
2016年12月 37.2時間/人	→	2017年12月 26.4時間/人	=	29.0%減

業績

【2016年6月】内勤メンバーへのテレワーク導入

2017年2月 売上 81.90%	粗利 127.9%
2017年3月 売上 87.10%	粗利 96.90%
2017年4月 売上 115.2%	粗利 114.1%
2017年5月 売上 111.2%	粗利 113.3%

【2017年6月】外勤メンバー含む、全社員へのテレワーク導入

2017年6月 売上 117.8%	粗利 119.7%
2017年7月 売上 99.60%	粗利 92.07%
2017年8月 売上 117.6%	粗利 127.1%
2017年9月 売上 122.0%	粗利 128.6%
2017年10月 売上 131.2%	粗利 109.6%
2017年11月 売上 211.8%	粗利 199.8%
2017年12月 売上 112.7%	粗利 110.4%

残業
41.3%減

売上
104.8%

粗利
113.6%

人時生産性
107.6%

結果として、社員満足も高まった

導入効果（仕事とプライベートの両立）

様々なイレギュラー時に対応できるようになった

地方経済 2018年(平成30年)12月14日 金曜日

オフィス機器販売のワークスマイルラボ（旧石井事務機センター、岡山市南区福浜町）は、大雨などの気象警報が出た場合、社員が自宅勤務できる制度を導入した。ITなどを活用して社外で働く「テレワーク」の運用を拡大。学校・園が休みになり、自宅で過ごす子どもを世話をしやすいよう配慮した。

テレワークを推進する総務省情報流通高度化推進室によると、警報発令によってテレワークに切り替えることができる仕組みの導入は全国でも先進的という。同社は「急に休んで『申し訳ない』という社員の負担感が積み重なると、退職にもつながりかねない。多様な働き方が可能になる仕組みを充実させ、貴重な人材を確保していく」としている。

自宅勤務は暴風、大雪、暴風雪、大雨警報と各種特別警報に適用。主に小学生以下の

ワークスマイルラボ

育児支援制度導入

気象警報時自宅勤務に

子どもを持つ社員が、学校が臨時休校になつたり、保育園から子どもを迎えて来るよう連絡があつたりした場合に利用できる。テレワークの利用は通常、前日午後7時までに申告するが、発令時は例外とする。やむを得ない理由で勤務を変更する社員の心の負担を軽減しようと制度化した。

+の効果

急な欠勤に対する「申し訳ない」という社員の心理的負担を軽減。社員満足度・ロイヤリティ共に向上

中小企業のテレワーク導入のポイント

- 仕事を単に社外に持ち出して行うことではない

→ いかに職場と同じ環境を
会社外で整えられるかが重要

テレワーク導入への4つの課題

労務
管理

コミュニケーション

書類の
電子化

情報
セキュリティ

中小企業のテレワーク導入のポイント

① 導入

中小企業は資金や運用する人財の確保が難しい

- 既存の商材やサービスを活用し、コスト面や導入面のハードルを下げる。



- 運用面は社内ルールと規定を作り、不足している部分を補う。

② 活用

導入後はテレワークを活用する社員と、しない社員が出てくる

- 全職種の生産性を見える化し、評価に連動させ、テレワーク活用を推進する

とにかく少人数でもいいので始めることが重要

テレワークを含めた 働き方改革を成功させるためのポイント

生産性が高まる環境を整えても、
社員さんの意識が変わらなければ、
活用されず失敗に終わる。



社員全員が生産性を意識し、
行動してもらって初めて成果が出る

テレワークを含めた 働き方改革を成功させるためのポイント

① 評価制度

評価すべきポイントを変える

時間軸



成果軸

人時生産性の導入

- 1時間あたりの成果を評価ポイントの中で高くする
- 数値化しやすい営業だけではなくて、間接部門にも成果を数値化するような工夫

働き方改革を成功させるためのポイント

全体	評価重要度	
2019第3四半期評価基準項目	リーダー(委員長)	一般・サブリーダー
ワクスマ改善案の提案実績(お客様視点の改善案,生産性向上の改善案)	200	200
方針、ルール、規定の理解度(理解度テストの点数)	150	150
方針、ルールの実行度合(ルールを守った行動をしているか?)	200	200
人時生産性(成果/月総労働時間)	150	300
チーム時生産性(成果/月チーム総労働時間)	300	150
部下・後輩に仕事を教えているか?先輩・上司に仕事を聞いているか?	200	200
8S活動への取組み	100	100
委員会活動への取組み	100	100
	7000	7000

各チーム

チーム第3四半期目標の達成率	300	200
個人第3四半期目標の達成率	200	300
チーム第3四半期方針(具体的行動)の達成率	300	200
個人第3四半期方針(具体的行動)の達成率	200	300
	5000	5000

テレワークを含めた 働き方改革を成功させるためのポイント

会社もテレワークを実施する人も
互いに安心して仕事が出来る環境をつくる

② 就業規則 テレワーク規程を新たに作成

- 自社の職種や、社内の状況に応じて作成
- 労働基準監督署へ提出
- 定期的に見直しをする

世の中の流れ

- ① 働きやすい労働条件
- ② 働きやすい環境の構築
- ③ 働きがい

①→②→③の順番で、
働きがいが後回しになってしまっている。

働き方改革を成功させるためのポイント

① 働きがい

② 働きやすい労働条件

③ 働きやすい環境の構築

上記の順番が大事。

多くの中小企業経営者はすでに、
「自社の働き方を変えねばならない」という危機感は持たれている。

しかし、

- 何から始めれば良いか？ 何をすれば良いのか？ に困られている
- 働き方セミナーに参加したり、社労士の先生に相談をしてる
- 多くのセミナーは、働き方『対策』(リスクヘッジ)

ワクスマは働き方改革『活用事例共有』を実施中です

ワクスマは働き方改革『活用事例共有』を実施中です

The image is a collage of several news clippings from the Japan Economic Journal (Nihon Keizai Shinbun). The top right features a large headline about remote work support. Other clippings discuss productivity, employee education, and various business topics. The bottom left shows a photo of a seminar.

ワクスマは社員数50名以下の中小企業の働き方支援企業

「働き方」を見て・体感していただく、体験見学会

様々な取組みを深掘りして事例紹介する各種セミナー

ぜひお越しください。お待ちしています！



WORK SMILE LABO 「働く」に笑顔を!